

科目名		授業形態	担当教員名	
医用機器安全管理学演習		演習	阪本 壮志・宮下 久美子・野村 大樹・南 正雄・飛来 直道	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
60 時間 (2 単位)		30 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
手洗い演習をすることで感染症対策を実演する。また、輸液ポンプ管理を行い、安全管理について座学で学んだ知識を応用する。実際に漏れ電流測定ボックスの作製・校正・測定・解析を通して、医療機器の電氣的安全について理解させる。				
授業の到達目標				
演習を通して、各種医療機器の電氣的安全保守点検方法を修得し、安全管理について理解を深める。				
授業計画				
回	内容			
1	前半オリエンテーション(1)感染症対策	16	漏れ電流測定BOX(製図)	
2	前半オリエンテーション(2)輸液ポンプ管理	17		
3	感染症対策(1)培地作製	18	漏れ電流測定BOX(穴あけ・パーツはめ込み)	
4	感染症対策(2)手洗い演習	19		
5	感染症対策(3)検鏡	20	漏れ電流測定BOX(はんだによる結線)	
6	感染症対策(4)スケッチ	21		
7	輸液ポンプの流量制度	22	漏れ電流測定BOX(キャリブレーション・補正)	
8	輸液ポンプの閉塞圧測定	23		
9	シリンジポンプの流量制度	24	漏れ電流測定	
10	シリンジポンプの閉塞圧測定	25		
11	スタートアップカーブ、トランペットカーブ	26		
12		27		
13	後半オリエンテーション	28		
14		29		
15	DMM、はんだ、はんだこての使用方法	30	実技試験	
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験				
レポート・課題	50%	感染症対策と輸液ポンプ管理のレポートの内容を評価する。		
小テスト				
平常点				
その他	50%	漏れ電流測定(実技試験)を評価する。		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
臨床工学講座 医用機器安全管理学	施設協議会		医歯薬出版	
MEの基礎知識と安全管理	日本生体医工学会ME		南江堂	
ME機器保守管理マニュアル	渡辺 敏・小野 哲章・峰島 三千男		南江堂	
自由記載				
備考				